

## 手紙

この課題では、自分が特に興味を持った三つの学問分野（あるいは、授業で扱った三つのアイデア・理論・概念）を選ばなければならない。これらは学期の早い段階で選択することになる。

この課題では、選んだ三つそれぞれについて、一通ずつ手紙を書く。各手紙はおよそ 450～550 語程度とする。これらの手紙の目的は、それぞれの分野を学ぶ価値を読み手に説得することである。

必須ではないが、特定の相手（友人や家族など）に向けて手紙を書いていると想像すると役立つかもしれない。そうすることで、自分の議論をより明確にし、説得力のあるものにしやすくなる。

重要なのは、その学問分野（あるいはアイデア・理論・概念）そのものに内在的価値に焦点を当てることであり、キャリア上あるいは金銭的な利益に焦点を当てることではない。

内在的価値とは、その内容を学ぶことから直接生じる価値を指す。これは、将来的にそれを学んだことで何が得られるか、ということとは対照的である。

たとえば、世界を特定の仕方で見ることが可能にすること、人間的に成長する助けとなること、批判的思考・共感・創造性を促進することなどは、すべて内在的価値に含まれる。また、社会を改善すること、人々がよりよく生きる助けとなること、以前は理解できなかったことを理解可能にすることなど、社会全体へのより広い利益も内在的価値に含まれる。

それに対して、特定の職業に就けること、高い給料を得られること、あるいは就職市場で有利になることは、内在的価値ではない。これらを課題の中にいかなる形でも含めてはならない。

もし含めた場合、その時点で「F」評価となる。